

事務事業名 シルバー人材センター運営補助事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1097

施策：	10	高齢者福祉の充実 ~地域包括ケアシステムの推進~	財務コード	01030102-41-165
基本事業：	01	社会参加と生きがいづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和63年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
公益社団法人筑紫野市シルバー人材センター		筑紫野市高齢者労働能力活用事業費交付規則に基づき、高齢者の就業機会の増大を通じた生きがいづくりや社会参加の促進を目的として、高齢者の会員で構成され、就業の場を提供しているシルバー人材センターを支援するため、その運営費について、予算の範囲内で補助を行うもの。 【手続き】申請 審査・決定 交付 【主な就業内容】 公共事業：小中学校の新型コロナウイルス対策の消毒作業、施設・駐車場・公園等管理等 民間事業：空き地の草刈、剪定、襖・障子の貼替え、パソコン作業等 独自事業：手作りリフォーム、石焼芋販売等 【令和4年度契約件数及び契約額】 公共事業：177件（121,633千円） 民間事業：1,887件（85,482千円） 独自事業：6件（1,383千円）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
高齢者の就業機会の確保と福祉の増進、高齢者の経験や能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与している。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
登録会員数	人	507	528	515	550			600
登録会員の就業率	%	93.9	94.9	100	100			100

5. コスト								
事業費	計	千円	19,810	19,810	19,810	19,810		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	19,810	19,810	19,810	19,810			
正職員人工数	人工	0.05	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	396	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	20,206	20,583	20,592	19,810			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	【状況】登録会員数、就業率ともに増加した。 【原因】会員拡大に向けての啓発や入会説明会を通じて会員拡大を図った。また、公共事業や民間契約数増によって、就業機会が増えている。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	あり	引き続き会員増に向けた取り組みを促すほか、高齢者の事故等が増加しないよう、研修会・講習会への参加に向けた取り組みを促す。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし					
成果向上余地	小さい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

インボイス制度の施行に伴う影響について、シルバー人材センターとの協議を継続して行う必要がある。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、昭和63年度から高齢者の生きがいと健康づくりや社会参加の推進を図るため、シルバー人材センターの運営費及び各種事業について国と同基準で助成を開始した。				少子高齢化及び超高齢社会という時代背景もあり、高齢者が健康で意欲と能力のある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」を実現するため、多くの高齢者に対し就業機会を確保・提供することが重要である。				
--	--	--	--	--	--	--	--	--